

ふくしま共創のまちづくり計画

東部地区（素案）

作成：東部地区ふくしま共創の
まちづくり計画策定懇談会
事務局：東部支所内
電話：(024) 534-2471

地域ビジョン

「災害に強く、安全で安心して生活できるまち」



【大波住吉神社の三匹獅子舞】

「地域活動が支えあう、子どもや高齢者にやさしいまち」

「自然と調和した、快適な生活環境が整備された魅力あるまち」

「歴史と自然資源を活用した、にぎわいのある地域交流のできるまち」

地域の個性

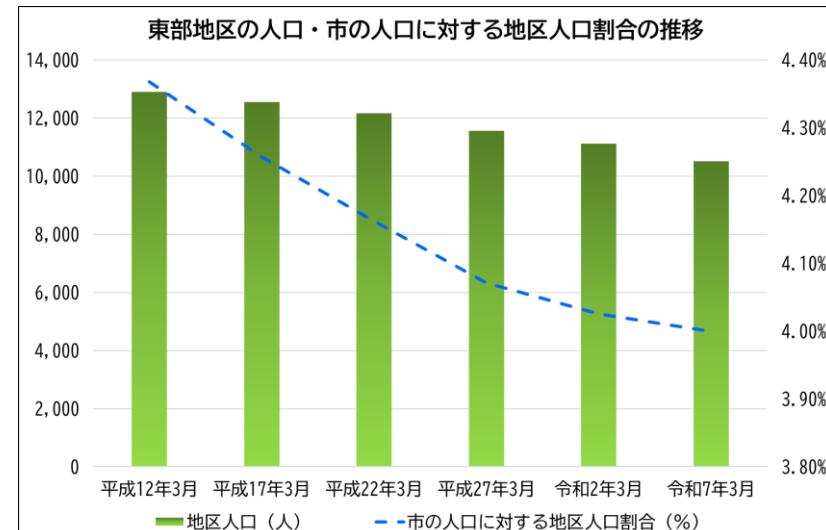
【位置等】 当地区は、阿武隈川の東岸に位置し、岡山地区、月輪地区及び大波地区で構成されています。岡山・月輪地区は、本市の中心市街地にも近く、主要地方道福島保原線沿いを中心に宅地化が進み、都市化が進行しています。大波地区は、相馬地方などへの交通の基幹となる東北中央自動車道をつなぐ国道115号が走り、山あいの農地と豊かな山林が広がっています。

【産業】 福島工業団地は、本市の企業立地の拠点となっており、製造業を中心とする企業が立地しています。また、岡山・月輪地区の平野部には、肥沃な農地が広がっており、特に、都市農業としてハウス栽培によるキュウリの生産が盛んで、県内有数のおいしさと生産量を誇っています。大波地区においては、中山間地の特性である寒暖差によって、おいしい米、野菜、南高梅の生産が行われています。

【自然環境】 阿武隈川沿いにはサイクリングロードやあぶくま親水公園が整備されており、小鳥の森ではバードウォッチングや里山の自然観察など、四季を通じて市民に親しまれています。

【民俗】 県指定重要無形民俗文化財の「岡山の水かけ祭り」や市指定無形文化財の「大波住吉神社の三匹獅子舞ならびに鬼舞」など、民俗伝統が継承されています。

【史跡】 国指定の史跡「宮畠遺跡」をはじめ、松尾芭蕉ゆかりの「文知摺観音」や「大波城趾」など、優れた歴史資源が数多く見られます。



東部地区の基礎データ (R7.9末現在)		
項目	東部地区	市全体
面積	29.19km ²	767.72km ²
人口 (人)	10,422 (市全体の4.0%)	262,122
15歳未満	1,308 12.6%	29,778 11.4%
15~64歳	5,565 53.4%	148,788 56.8%
65歳以上	3,549 34.1%	83,556 31.9%
世帯数	4,734世帯	125,001世帯

地域の取り組みの実績

- 町内会単位に自主防災組織を結成し、地域防災力の向上に努めています。
- 優れた歴史資源を地域で再認識するため、「もちずり地区再発見悠久散歩マップ」を活用し、学習センターにおいて体験コースを掲示し、周知に努めました。また、マップ内の名所8か所を選定し、案内標柱を設置しました。
- 環境美化活動として、花いっぱい運動、ひまわり畠づくり、ポイ捨てのない美しいまちづくり、清掃活動を通して、地域をあげて環境の美観、景観づくりに取り組んでいます。
- 小学校区ごとに見守り隊を組織し、地域ぐるみで児童の安全確保に努めています。
- ひとり暮らし高齢者昼食会、ふれあいサロン、いきいきももりん体操などを開催し、住民が気軽に交流できる場を作っています。
- 子育て広場は、子育て支援センターや地区民生児童委員など、地域をあげて学びと楽しさを両立した交流事業を行っています。
- 夏祭りを開催することにより、地区や町内会での世代を超えた地域住民同士のコミュニケーションづくりにつなげています。
- じょーもぴあ活用推進協議会によるイベント「宮畠ウォーク」を通じて地域の魅力を発信しながら交流の場を作っています。
- 大波地区では、NPO法人を中心として大波米の販路拡大やサツマイモ、南高梅といった地域の資源を生かした6次化商品の開発を進めるとともに、地域の魅力を発信し、移住者を増やすための活動を行っています。
- 公共交通が不便な地域で、移動困難な高齢者、障がい者を対象に、乗用タクシーを活用した小さな交通事業の実証運行を行っています。



【岡本薬師堂案内標柱】

地域の強みとなる資源

（1）自主防災組織育成指導事業

組織的に災害時の被害軽減のための活動を行う自主防災組織の育成、指導を行うことで、地域の防災力向上が期待されます。

（2）災害に備えるハザードマップ

区域内に居住する市民等へ周知を図るために池ハザードマップ、大雨時の河川氾濫による浸水区域（洪水ハザードマップ）、短時間の強雨などによる浸水区域（内水ハザードマップ）、土砂災害の危険箇所（土砂災害ハザードマップ）を示した区域図、防災マップが作成されており、住民が被害想定区域を把握し、地域における速やかな自主的避難や危険回避行動につながることが期待されます。

（3）多様性に富んだ魅力ある観光資源

史跡「宮畠遺跡」や縄文時代を体感できる「じょーもぴあ宮畠」、松尾芭蕉ゆかりの「文知摺観音」、県指定重要無形民俗文化財の「岡山の水かけ祭り」、市指定無形民俗文化財の「大波住吉神社の三匹獅子舞ならびに鬼舞」、バードウォッチングができる「小鳥の森」、阿武隈川の「サイクリングロード」「あぶくま親水公園」など魅力ある観光資源を有しています。

（4）魅力ある地域産業

県内有数のおいしさと生産量を誇るキュウリや、中山間地の特性を生かしたおいしい米、野菜、南高梅の生産が行われ、福島工業団地には、製造業を中心に様々な業種の企業が立地しています。

（5）交通の要衝

本市と浜通りを結ぶ東北中央自動車道をつなぐ国道115号や、本市と伊達市を結ぶ主要地方道福島保原線が走るなど交通の要衝になっています。

地域課題

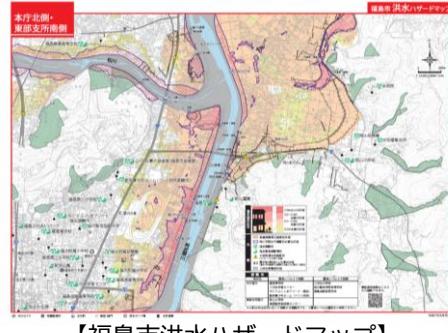
- (1) 近年の気候変動により、災害リスクが高まったため、災害時の対応について、意識を高めて取り組む必要がある。
- (2) 人口減少が進む中、地域活力を維持するための対応が求められている。
- (3) 次の世代へ衛生的で美しいまちを引き継ぐため、地域の衛生環境を維持していく必要がある。
- (4) 地域への愛着を醸成し、地域交流の資源となる歴史文化を継承していく必要がある。

重点的な取り組み

I 災害に備えるために

【方針1】災害に強い、安全で安心して生活できるまちづくりを進めます。

- (継続) 洪水ハザードマップや土砂災害ハザードマップなどの活用により、災害時に備え各個人がとれる対策を学んでいきます。
- (継続) 自主防災組織を再確認するとともに、地域の防災施設（避難所や避難経路、土のうの配置状況など）の周知を図り、定期的に地域をあげた防災訓練を実施します。
- (継続) 災害時に自力での避難が困難な高齢者・障がい者などの避難行動要支援者の個別避難支援プランを作成する取り組みを進めることにより、地域で支えあい、助けあう安全・安心体制を強化します。
- (継続) 地区の平坦部のほとんどが浸水想定区域に入っており、避難所や避難場所の不足が予想されることから、地区内の避難場所となりうる施設を洗い出し、避難所確保に向けた検討を進めます。
- (新規) 地区内に街路灯が少ないため、災害時の避難経路や通学路の安全確保に向け、街路灯の設置場所を選定し、地域生活基盤整備事業を活用し設置を進めます。



【福島市洪水ハザードマップ】

II 地域活力を維持するために

【方針1】地域コミュニティの充実を進めます。

- (継続) 犯罪のない明るいまちづくりを推進するため、各種団体による防犯パトロールの実施や、交通安全啓発活動の推進に努めるとともに、登下校の見守り、あいさつ・声のかけ合いの推進に努めます。
- (継続) 子ども向けのイベントをはじめ、高齢者から若者までが交流し楽しむことができる、地域の資源を生かした魅力的な事業を推進します。
- (継続) 地区体育協会などが主催するスポーツ大会やイベント、もちずり学習センター主催の各種講座や文化祭、芸能祭に積極的に参加し、住民相互の交流を深め、生涯スポーツと生涯学習の振興を推進します。



【子どもを見守る隊の活動】

(拡充) 新たに当地区住民となる方も地域にとけ込みやすくするため、もちずり学習センターの利用を促進すると共に、地区内のお祭りやイベントを発信し、交流の場を増やすなどコミュニティづくりに努めます。

(新規) 地区内の福祉施設等で行われるイベントを周知し、交流の輪を広げていきます。

(新規) 地域の移動手段が限られる高齢者や障がい者のために、地域で取り組む小さな交通の運用方法を検証していきます。

【方針2】地域活動や健康づくりを通して全世代が安心して暮らせる地域づくりを進めます。

(継続) 高齢者が健康で安心して暮らせるよう、高齢者サロン、いきいきももりん体操をより活発にし、高齢者を見守るネットワークづくりに取り組みます。

(継続) 安心して子育てができるよう、各種団体が連携し、地域で子どもの成長を見守ります。

(継続) 福祉関係団体や社会福祉法人等が連携し、子育て世帯や高齢者世帯、障がい者世帯等の生活を支える活動を推進します。

(新規) 保育所・幼稚園や学校、町内会を通し、全世代で健康について学んでいきます。

【方針3】若者の定着とUターンやIターンが進むことを目指します。

(新規) 工業団地内の企業が将来の就職先の選択肢の1つとなるよう地元企業の理解を深めるため、会社見学や職業体験に取り組みます。

(継続) 県内有数の生産量を誇るキュウリ栽培を始めとする農業の魅力を発信します。

(新規) 地区内の空き家の利活用が進むよう、空き家バンク制度の周知に努め、所有者へ制度への登録を働きかけます。

III 快適に過ごすために

【方針1】地域を上げて、衛生的で美しいまちづくりを進めます。

(継続) 町内会や各種団体による、不法投棄の監視や道路、河川の除草といった清掃活動や花いっぱい運動を行います。

(継続) 町内会によるごみ集積所の管理や衛生害虫の駆除により衛生環境を維持していきます。

(新規) 町内会の衛生部会を通じて、ごみ出しルールの周知徹底を行い、きれいなまちづくり運動を実践します。



【花いっぱい運動】

IV 歴史と文化と自然を守るために

【方針1】歴史と自然資源を活用した、にぎわいのある地域交流のできるまちづくりを進めます。

(継続) 文知摺観音やじょーもぴあ宮畠、小鳥の森などを結んだ、歴史や自然にふれあう体験コースを紹介するとともに、歴史資源を活用した交流による地元紹介の取り組みを進めます。

(継続) 大波城趾の地域ぐるみの保全活動や「大波住吉神社の三匹獅子舞ならびに鬼舞」の伝承により、地域の史跡や伝統文化を守ります。

(継続) ジョーもぴあ宮畠と地区内の各種団体が連携して宮畠遺跡の魅力の発信に努めます。



【じょーもぴあ宮畠】